

郷土選手2人が力走しBクラス優勝に貢献

第31回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会



↑たすきを受け取り6区を走りだす久保さん(写真左)

↑2区を走り終えたたすきを託す湯元さん(写真右)

1月28日に第31回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会が開催され、本町出身の湯元七海さん(出水中央高校・湯ノ口出身)と久保亜美さん(鹿児島銀行・川床下出身)の2人が、出水チームの代表として出走。チームのBクラス優勝に大きく貢献しました。

2区を走った湯元さんは、体調を崩しながらも、粘りの走りを見せ3位でたすきをつなぎ、最終6区を任された久保さんは、区間5位の力走を見せ、総合4位でゴールしました。

久保さんは「前日の区間変更があり最初は不安だったが、沿道の人たちの応援が力になり最後まで走りきることができました。来年はもっと力をつけて、個人としてもチームとしても今年よりいい成績が出せるようにがんばりたいです」と話しました。

(写真提供…南日本新聞社)

島内全域が雪に覆われる



↑12日の山門野集落の状況

1月11日の未明から12日にかけて降った雪で、長島町内全域が雪に覆われました。町内全域での積雪が確認されたのは、平成28年1月以来2年ぶりとなりました。今回の大雪の影響による農作

物への大きな被害はありませんでしたが、県道平尾川床線と県道葛輪瀬戸線のほか、町道の山間部を中心にチェーン規制がかかるなど、住民の交通に支障を来していました。